

### 平成25年度 再評価対象事業一覧表

事業計画	事業計画					再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)						
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期		事業費(億円)	再評価の理由	事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、関連事業の状況			社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		分析基礎の要因の変化	コスト削減及び代替案立案の可能性の有無
						着工	完了			進捗率	用地進捗率	H25年度事業費	H26年度以降事業費	B/C									
						上段：当初※1 下段：変更								前年度迄事業費(億円)						(%)	(%)※2		
港湾-1(個別)	海岸保全事業	福島港平野地区海岸保全施設	県	松浦市 福島町	護岸(消波) 1,065m 護岸(改良) 680m	H11	H26	8.6	再評価後 5年経過	7.7	72.3	-	2.5	0.4	・長崎県総合計画「自然災害等に強い県土づくり」に位置付けられている。 ・松浦市地域防災計画に位置付けられている。	当初計画区間の一部背後地について松浦市が地盤嵩上げ工事を実施している。	浸水被害に対する安全確保のため、海岸事業の早期完成が望まれている。	5.30	5.08	・地盤改良工の追加による事業費の増	・可能な限りコスト削減を図る。 ・地盤改良工法について経済比較の上、決定している。 ・代替案の可能性は無い。	H20	見直し継続
					護岸(消波) 460m 護岸(改良) 570m	H11	H26	10.6															
河川-6(個別)	総合流域防災事業	仁反田川	県	諫早市	改修延長L=900m 築堤工、護岸工、橋梁工 水門等	S58	H25	30.0	再評価後 5年経過	18.4	61.4	100.0	0.7	10.9	上位計画：長崎県総合計画9-1-5(自然災害等に強い県土づくり) 関連事業：特になし	特に開発計画は無く、人口の変動も少ない。治水安全度上、狭窄部となる鉄道橋架替に伴う鉄道事業者との協議の進捗が図れなかったため、事業期間の延長となっている。	早期完成を要望。	1.24	1.07	社会的割引率考慮	可能な限りコスト削減を図る。代替案と比較したうえで最適案と判断した。	H20	継続
						S58	H30	30.0				(100)											
砂防-3(個別)	地すべり対策事業	里地区	県	松浦市 志佐町	集水井工9基 集水ポーリング工155本(L=5,980m)排水 ポーリング工10本(L=581m) 横ポーリング86本(L=3,560m) 杭工311本(L=7,803m) アンカー工72本(L=866m) 隧道工1,133m	S56	H25	12.2	再評価後 5年経過	11.0	52.1	100	0.5	9.6	長崎県総合計画の中で、「安全・安心で快適な地域をつくる」に関する政策の中で土砂災害防止施設整備が挙げられている	・受益戸数の変化があり、前回59戸から、今回88戸へ増加している ・Aブロック上部すべりについて地下水位の低下を実現しているが、現在もお地すべり変動が確認されており杭打工を追加し事業量が増加するため。	地すべり対策工事の早期完成が望まれている。	2.54	1.52	・受益戸数の変化によるもの ・事業量の増によるもの	・可能な限りコスト削減を図る。 ・代替案の可能性はない。	H20	継続
	S56	H29	21.1	(100)																			

※1 2回目以降の再評価の場合、「当初」は「前回」と置き換えている。  
 ※2 用地進捗率の上段は「予算ベース」、下段( )書きは「契約ベース」である。